

四四ウ											
14	4	3	2	1	14	13	12				
聞道夕死可 孔子之所貴： 生而取義者也ココモヨイ程ノ者ナラバ： 大利根ナ者チャ程ニ為 _二 后 _一 人ノ問タソ： エ問マイ又聖人デナウテハエ答ヘマイ処ソ： ガ飾リ偽ル _一 ヲ本ニスル程ニカウ云タソ： ハ飾ル方ヲ云エカキサイシクウルシヌリ： 共下ガ比興デハ曲モ無ソ： ：當時世上ニ文バカリヲ本ニ貴ブ程ニ：											

一、底本第二冊目（三五丁ウ・三九丁ウ・四一丁オ・四三丁オ・ウ）には、欄外書込みがある。影印では文字が小さく読み取りにくいので、次に明示しておく。

丁数	行数	欄外書込本文
三五ウ	7	史記晏子傳執鞭見
三九ウ	3 4	楚策云昔者葉ノ公子高身獲干表ノ薄葉公子高田食六百畝ノ荀子左司馬沈ノ尹之子也
四一オ	3	恒魁宋司馬向魁ノ向巢之第向戌之ノ孫翼考
四三オ	14	寰宇記云徐州ノ沛縣合郷故城古ノ互郷之地
四三ウ	6 10	忍烛袁了凡云此ノ章原無錯簡與其ノ進三句緊着童子説人潔已三句ノ推開説玩人字ノ童子亦在其中ノ而所指則廣矣ノ註謂退是将来ノ往是前日然玩ノ保字之意恐往ノ亦是去後耳

一、所蔵本の影印をご許可くださった京都大学附属図書館に対し、心から感謝する。

目次

凡例	1
論語卷第一	
学而第一(□一ニオ)	19
為政第二(□一三オ)	30
論語卷第二	
八佾第三(□三七ウ)	45
里仁第四(□五四オ)	61
論語卷第三	
公治長第五(□一オ)	75
雍也第六(□一六オ)	90
論語卷第四	
述而第七(□三〇オ)	104
泰伯第八(□四八オ)	122
論語卷第五	
子罕第九(□一オ)	140
郷党第十(□一四ウ)	154



論語卷第六

先進第十一(三三才) 170
顏淵第十二(三四一ウ) 181

論語卷第七

子路第十三(四一才) 193
憲問第十四(四一二才) 204

論語卷第八

衛靈公第十五(四二九才) 221
季氏第十六(四三八才) 230

論語卷第九

陽貨第十七(五一才) 241
微子第十八(五十才) 250

論語卷第十

子張第十九(五一六才) 256
堯曰第二十(五二四才) 264

解題 271

徳アツテ位ハ王アホホトニ位ナリ三月廿九日孔子死シテ九十ニ至リ
 大君ハ六終ノ時ヲマテテ孔子ヲ葬スルニ命ジテ大司馬アリ孔子
 國ノトアソビハ必ズ是ヲ相好ム人ニカリ奇特ノ有カ聖人トシテ但天理ニト
 ムクテ聖人トシテ相好ム人ニカリ奇特ノ有カ聖人トシテ但天理ニト
 六大夫私語列女曰吾觀孔仲尼有聖人之表河目而龍顏黃
 帝之視也之脩也而為也長九寸而湯之容特之也孔子六尺計
 圍ア今見之ハセシヤルニトスノ 佛祖遺教ニ孔子生而有長九寸大
 寸腰帶十圍去手三寸腰河目海目沙鉢方銳爪鬚悉類龍也觀
 有中和之德衣莊而嚴色溫而厉 應列而錫カ新五ノ孔子ハ神ニ云
 竟須髮耳華冠豈佩取之自雜魯者耶聖人小氣也 相傳實
 記云先聖生有異質九ノ十九表之知五十九格ノ身兼集詳之孔子
 三十四歲適周向禮左聘訪樂長張夏魯 佛祖統紀列清降
 法行經五月光齊彼稱顏之稱先神 老淨并彼稱老孔子之稱先神
 如童子彼老子 天台上觀六多救遺三聖此實且其言以五聖

10

5

今震且其ノ吾佛皇生方差ナシ依テハ三聖ヲ震且ニシキ其ノ
 際ト度スル孔子生月周王五十二年庚戌之歲魯襄公廿二年十月
 庚子魯昌平鄉俛邑孔子生テ三年ニ叔梁紇死スル孔子因
 天敬王四十二年生伐魯哀公十六年夏月己丑卒年七十三葬於
 魯城北泗上日本懿德天皇十六年二月甲子月八日景王景主敏王ノ
 三代ノ歷ラシテ魯ハ襄昭定哀ノ四君ヲ経テ日天子ノ海清乾德
 聖帝ノ三代ニテ孔子ノ葬テ門弟子皆服メ心喪スルニ三年而去
 喪服スルキニテ心ニ程心ニ喪トスルオオ孔子ニ三年喪了テ敏子
 重ノ又三年シテ六年塚上ニ葬シメノ魯國ノ者カ是ヲ東テテ家造
 テ居テ百家家アツケテ是ヲ孔里ト名付メノ魯ノ四考ニ祭ル祭ノ
 ニ三水ガナカツメハ石門カラ忽ニ湧テ祭ガスルバ水止ムノ南都二水
 堂行ノ水如ク是ガ女羅山上ニ孔子ノ墓ト云テ去城百里高一
 丈二尺東西十三步南北十歩本ソウハガ晉李計アツタ各別ト云レ
 ガ他國ヨリ持来テ是ニ程何ノ事ト知レヌ不生荆棘及刺艾草

10

5

三才

アテヲラトナクツテ孔子一子名ラズハ紀元二子ノ六代生キ
 宣任臣父普史聖血家臣ニ寄リバ紀元在孔子東家臣之重
 王繼國公宜在公隆道公感赫翁等之記也世世等不敬也子
 三百年アリ四百年ニ及リ
 以有撰者ニツテ諸說不同之皇侃七十二人孔子カ記トスル
 事而程柳カ諸吾ノ記トスル物カ西アルル其上カ孔子ノ弟子ノ記
 ナト云 誤トスル曾子ハ孔子ヨリ老テ八十歳テ八十計テ死スラマ
 答吾是答吾手死スル孔子ハ言フ以言中書キホトニ何カ孔子ノ記
 ノ去程ニ言ハ孔子ノ弟子ヲ去カ其志ニイフ事誰カ記トスル事
 孔子ニ樂正子春子思子徒記スル其謂ハ以言ニ門弟子ヲ語ツ者皆
 字ニ記多曾子一人有徳ヲ稱シタル者後ハ七ニ有者ヲ記テ言フ
 曾子ノ八言ハ孔子聖人ニ似テホトニ一旦立テ其徳トスルニ依テ也其後有
 若物同クハ工居ノエトカマツメソ 其記孔子傳テ有若女子十三
 世カ孔子既没孔子思慕有若故似孔子才カ女子其為神六

10

5

之如夫子時也他日才子集問曰昔夫子處魯徒見子持兩具已而果而
 才子問曰夫子何如知之夫子曰詩不云子月離于畢 泗滌沱新野新
 月不宿畢乎他日宿畢竟不宿商瞿年長其母為私室孔子
 任之有惟母請之孔子曰元夏則惟の年ノ十右當有五丈夫子已而果
 然リ取向夫子何如知之有若然然以惟才子起曰有子僅三以非子
 之座也毛評之曾子カ又ハ理ガ滄ガ有若ヲ抑トセトスハ其史官ノ
 早シイ詞ヲ記テ其記松ハ孟子ニ孔子没后弟子張子將著有若
 ガ白キ孔子聖人似テホトニ孔子ノ如ク又ハスト曾子ニ強テ云レバ曾子カ
 肯テ孔子ノ徳ハ江漢以濯之秋陽以暴之マラゾ有若ヲ抑トセトスハ聖
 人ヲ慕ス又テアツクソカヲ有ホトニ抑トセトシメハハレ正シク抑トシタリ
 ハ其ノ誤メトソ程子ハ柳カヤツキニ其共チガツメノ有若ト曾子トカ
 孔子カ記メ其故ハ兩人ニチカテ言フ春タトスルニカワヅニソ
 家説ニ柳カ説ヲ破レテ是ハ孔子ノ直ニ春シトサヒムニ孫才子
 記トスルイマノ記中ニ曾子ハ一貫ノ道ヲ得有若ハ負カ聖人ニ似テ

10

5

四才